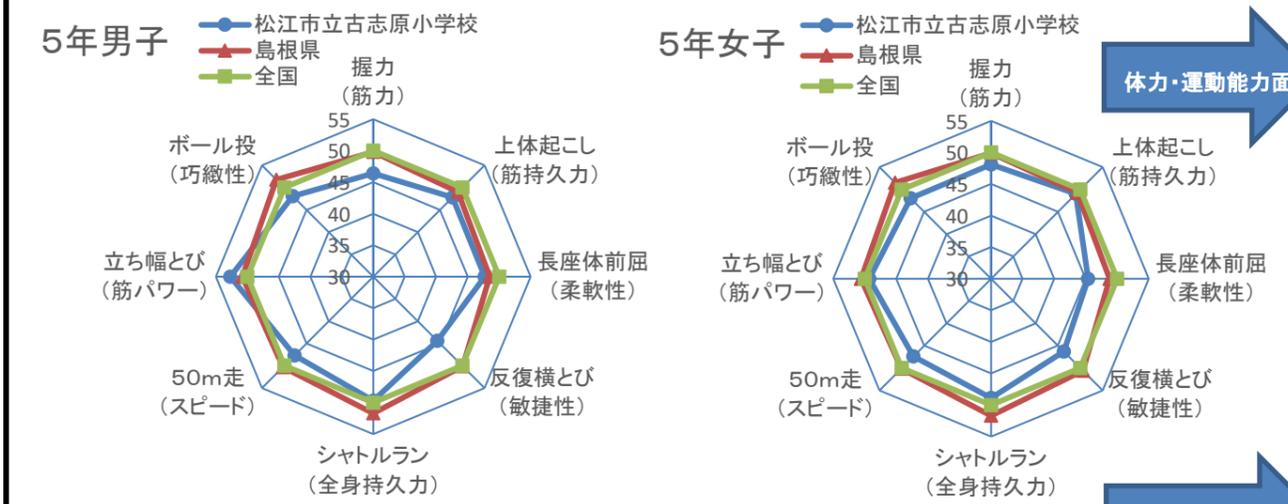
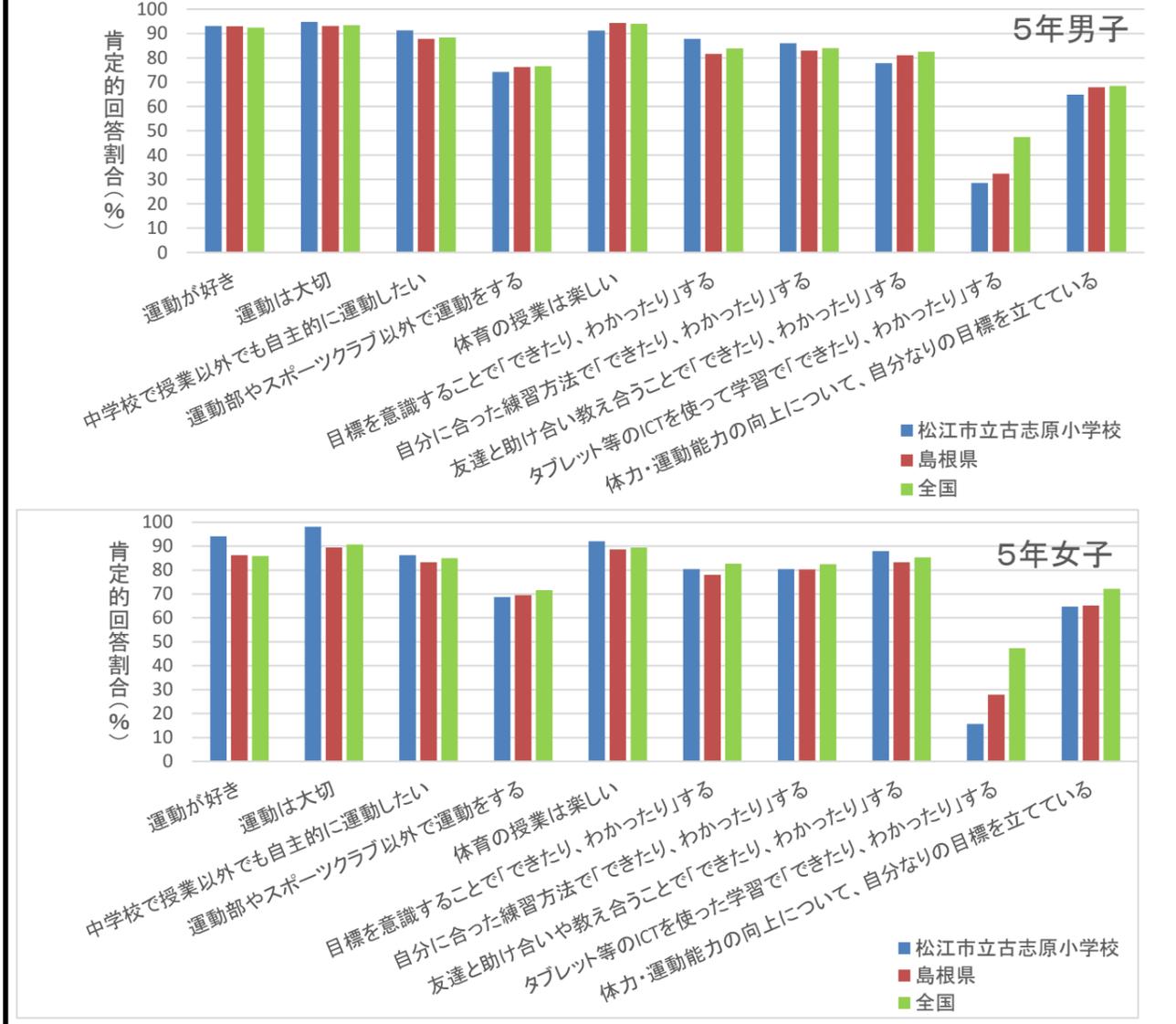


(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-3.6	-2.2	-2.3	-5.6	-0.3	-2.3	2.7	-1.9
女子	-1.9	-1.0	-4.6	-3.7	-1.1	-2.6	-0.7	-2.0

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することでできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いのできたりわかったりする
男子	0.7	1.4	2.9	-2.4	-2.8	3.9	2.0	-4.7
女子	8.2	7.4	1.3	-2.9	2.6	-2.3	-2.1	2.7

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする
体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

男子	-18.9	-3.6
女子	-31.7	-7.5

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]
弱み ← → 強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・令和5年度の4月に校内ICT研修とコラボして、体育の授業でICT機器(タブレット端末)を利用した学習の効果的な進め方についての研修を企画・実施する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
 - ・年度初めに、年間指導計画と指導内容系統表を配付・説明し、系統を意識した指導が行えるようにする。
 - ・授業づくりや授業マネジメントについて記載した「体育科授業ハンドブック」を配付し、共通のルールの確認や授業内で行える工夫の具体例などを共有する。
 - ・令和4年度の体力・運動能力調査の結果から、児童が目標をもって体育の運動に取り組む意識がやや低いので、授業の中で「なりたい自分」を考え、目標をもって学習に取り組めるように、授業者にルーブリックの導入を促す。
 - ・令和4年度の体力・運動能力調査の結果分析結果をもとに、令和5年度の古志原小学校の体力向上の重点項目について共通の認識をもち、普段の授業から改善に向けた取組を意識的に進められるようにする。
 - ・6年生児童を対象に校内器械運動発表会を行い、器械運動に意欲的に取り組むことができるようにするとともに、発表会の様子を直接見学したり、動画視聴できるようにすることで、全校児童の器械運動への活動意欲が向上するようにする。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
 - ・各学級へのボールや長縄などの運動用具を配付、体育館ギャラリーへの鉄棒の常設、校庭に逆上がり補助器を設置するなど、児童が休み時間に進んで運動に親しめるような環境を整える。
 - ・児童会主催の運動遊びの企画を実施し、運動することの楽しさや友達と一緒に体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・学校だよりや保健だよりの中で運動や健康に関するテーマを取り上げ、啓発を図る。
 - ・松江市小体連の共有フォルダ内にある各校の優れた実践例について紹介したり、学園内で、体育的な活動についての情報交換を行ったりして、効果的な取組についての積極的な導入を図る。